

## 県消防防災ヘリコプター事故概要と対応状況等について

長野県危機管理部

## 事故の概要

## 1 概要

- (1) 確認 平成 29 年 3 月 5 日 (日) 15 時 12 分 県警ヘリが墜落を確認。  
(2) 場所 鉢伏山付近 (松本市)  
(3) 発生状況 県消防防災ヘリコプター「アルプス」が訓練のためフライトし墜落。

## 2 被害の状況

搭乗隊員 9 名が死亡

- ・操縦士 1 名
- ・整備士 1 名
- ・消防隊員 7 名 長野市消防局 2 名、松本広域消防局 2 名  
上田地域広域連合消防本部 1 名  
佐久広域連合消防本部 1 名  
北アルプス広域消防本部 1 名

## 3 事故直後の対応

【3月5日(日)】

- ・長野県消防防災ヘリコプター事故対策本部を設置
- ・県警ヘリにより、県警救助隊員等 9 名を投入
- ・自衛隊へ災害派遣要請 (自衛隊法第 83 条 1 項)
- ・相互応援協定による応援 1 機 (山梨県)
- ・総務省消防庁へ広域航空消防応援を要請 (岐阜県、埼玉県、愛知県)
- ・消防地上隊 (松本広域消防局 6 隊 23 名、諏訪広域消防本部 5 隊 16 名) 投入
- ・松本駐屯地より 29 名の救助隊を投入

【3月6日(月)】

- ・消防地上隊出動 61 名
- ・山梨県・埼玉県・岐阜県防災ヘリにより消防隊員 6 名を投入
- ・県警地上隊出動 17 名
- ・県警やまびこ 2 号現着、隊員 13 名投入
- ・自衛隊地上隊 34 名 立木伐採・救助作業のため投入

## 対 応 状 況

### 1 事故後の対応状況

#### (1) 御遺族の皆様への対応状況

- ・知事、部長による弔問。職員、保健師による慰問及び各種手続き等の説明（随時）

#### (2) 事故原因の究明

運輸安全委員会の調査及び警察の捜査（事情調査等）への協力。

- ・3月25日、県庁危機管理部室及び消防防災航空センターに警察の強制捜査。

### 2 当面確保した消防防災航空態勢

#### (1) 国等への説明と要請

- ・総務大臣、消防庁長官及び警察庁長官に対して、知事から支援を要望（3月21日）

#### (2) 応援受入態勢の確保

地上での支援活動を行う要員として、消防隊員6名体制を確保

（長野市消防局、松本広域消防局、飯田広域消防本部、上伊那広域消防本部、岳南広域消防本部、須坂市消防本部 各1名）

#### (3) 航空応援態勢の確保

##### ア 消防活動等消防防災ヘリ

①相互応援協定を締結している6県（新潟県、富山県、岐阜県、群馬県、山梨県、静岡県）に加え埼玉県（特別協定3月30日）、愛知県と新たに協定締結（4月中見込）。

##### ②広域航空消防応援の迅速対応

※相互応援による出動がない場合でも、広域航空消防応援ができるように柔軟に対応。

##### イ 警察ヘリ

県警ヘリ2機に加え、ゴールデンウィーク期間中（5月1日～8日）の救助活動機会等の増加に備え、他の都道府県警へ航空隊の派遣を要請中。

### 3 今後の消防防災航空態勢の検討

消防防災航空態勢に係る当面对応すべき事項や中長期的な態勢について、県、市長会、町村会、消防長会等による検討を行っていく方向でご相談してまいりたい。

## 合 同 追 悼 式

### 1 開催趣旨

「防災ヘリ事故により亡くなられた殉職者に対し、これまでの功績を顕彰するとともに、より多くの方々に生前を偲ぶ機会」として合同追悼式を開催する（県及び県消防長会の共催）。

### 2 開催概要（詳細は今後策定）

#### (1) 日時及び場所

日 時：平成29年5月30日（火）午後1時30分から

場 所：キッセイ文化ホール（松本市）

#### (2) 参列者

ご遺族、国、県、市町村、国会議員、県議会議員、消防関係者、県警、自衛隊など